

## 1 群馬師範学校男子部附属小学校『一日のプログラムおよび学習指導案』(1948)に関する資料

## 社会科学習指導案 (四の一)

昭和二三・六月中旬一七中旬

指導者 齋藤本治

## 単元 前橋の乗物

## 一、単元の考察

私たちの郷土は、山と川の風美に富む。またそれだけに交通の発達は、到る所で阻害されているが、これらの地勢をよく克服して、昔から表日本と裏日本、中央高地と関東とを結ぶ要路としての役割をつとめており、交通機関の発達した今日は、観光地群馬への足として重要な役割を果している。

また県都前橋は高崎、伊勢崎、桐生、渋川、藤岡等の主要地に向って発達し、それだけに市内も諸車の往来が激しく、しかも朝夕の人の群は相当なものである。

子供たちは、日夜このような環境の中に成長している。

## (一) 児童の立場から

- 児童たちは四三名中こ一・二年の中に、丹那トンネル(一六名)清水トンネル(二〇名)地下鉄(三五名)海底トンネル(三名)を通った経験を持ち、その結果なぜこんな所にこのようなものを作ったのか。作る時のようすはどんなであったろうか。というようなことに疑問をもっている。この疑問を或程度解決する中に、児童たちの自然の欲求である、実験したり、いじったり、作ったりすることへの満足を与える。
  - 学習指導要領に示されている四学年の問題VIを中心に、I・II・V・IX等を解決する有効なる学習活動を含んでいる。
  - 児童はこんな問題に直面している。前の単元「身体検査」のところで、身体の保全について、運動と食物の面から考察している。ところがこの組では、先日冒険的なあげくにより、全治三ヶ月という骨折者を出し、またある朝の話し合いに一児童は「今朝よそ見をして歩いている中自動車にひかれそうになってころんでしまった」という話題を提供している。そこで全体として冒険的な行動や交通事故等による災害防止について、お互いに注意していかなければならないという関心が高まっている。
- 参考までに群馬県の児童交通事故原因調査表を掲示する。(表省略)
- 一定の学区をもたないこの学校の子供たちは、煩雑な交通網の中を通学している。
  - 県下唯一の学童交通整理班の推進されている町であり、子供たちは常に協力的でなければならない。
  - 劇化、紙芝居化、模型化等創作的な表現の機会を与え、児童の経験を豊富にし、またまとまりを与えている。
  - 読図、描図、図表化の力、図書館ならびに参考書利用等いろいろな技術の修練の機会を与えている。
  - 国語で「汽車の中」を学習し、図工で「いろいろな乗物」を学習中である。

## (二) 社会の立場から

- 劇化、模型化をはじめ協力を必要とする学習で共同生活の進歩向上に役立っている。
- 交通道徳、乗車道徳等民主的な社会秩序を必要とするものであり共同生活の進歩向上に役立っている。
- 共に調べ、共にまとめ、発表しあい、討議するという各人の価値を相互に認めあい、各人に自信を与える機会をたくさんもっている。

- グループ学習を主とするから、才能の異なる児童各自に適する各種の活動を含んでいる。
- 自然を巧みに利用する等人と自然環境との関係や社会的な意味をもつ乗物と世の人々との関係等を正しく理解し社会改善に尽くす態度が養われる。
- 現在の交通量から考えると、伊勢崎高崎間はもちろん、前橋と東京を結ぶ線の電化の必要ということが考えられる。
- 渋川、桐生等への交通量の増大も計画されねばならない問題であろう。

## 二、計画

- どんな乗物が使われているか。
- 乗物は我々の生活に如何に役立っているか。
- 道路や鉄道は如何にして今日の道すじにきまったか。
- 土地によって交通運輸の方法はどんなにちがうだろうか。
- 自然条件は交通にどんな条件を与えているだろうか。
- 我々は交通事故を防ぐのにはどうしたらよいか。
- 我々は交通の安全をはかるのにどんな施設を必要とするか。
- 乗物に乗った時はどんな心掛けが必要か。
- 現在の交通難の原因を知る。それをなくする為にはどうすればよいか。
- 交通のようすは如何に改善されるべきか。

## 三、学習活動の展開

六月中旬から七月中旬にかけて学習される。(約二五時間)

- 学習環境をつくる。
  - いろいろな乗物の写真絵画を用意する。
  - 橋やトンネルの写真、絵画を用意する。
  - 乗物のおもちゃや模型をもちよらせておく。
  - その他乗物に関するいろいろな資料を集める。
- 交通についての経験を話しあう。
- 乗物あそびをやってみる。
  - 遊び方をグループ毎に相談する。
  - 遊び方を発表しあう。
  - 遊んでみる。
  - (街の略図や模型を作って遊んだらどうかと刺げきする)
- 街について乗物のようすについて調べる。
  - 駅前乗物の種類をしらべる。
  - 乗物がどのくらい通るかしらべる。
  - 乗物の中のようすなどにも注意する。
  - 道路のようす、幅などについても調べる。
  - 交通標識等も注意してしらべる。
  - (交通妨害にはならぬようみちびく。)
- 交通のようすをあらわす略図をつくる。
  - バスは前橋を中心とした、地図に書き入れる。特に市内のバス道路は明示する。
  - 発着所、停留所を記入する。
  - 交通整理をしているところを記入する。
  - 交通に関係した標識等も記入する。
  - 特に危険と思われるところを明示する。
  - 汽車、電車は群馬県の地図に記入する。
  - 日本の地図に幹線鉄道を記入する。
  - 前橋はその幹線とどんなふうにつながれるかしらべる。
  - (読図、地図の記号等念入りに指導する。)

- (六) 乗物の数についてしらべる。  
 ○前橋にはどの位あるか。図や表にまとめる。  
 ○日本およびその他の国はどうか。図表にまとめる。  
 ○前橋の汽車、電車の一日の交通量について調べる。  
 ○日本およびその他の国の汽車や電車の数をしらべて、図表にまとめる。
- (七) 今の乗物と昔の乗物について調べる。  
 ○今の乗物が前橋に入ったのはいつか。  
 ○日本に始めて入ったのはいつか。  
 ○発明されたのはいつ頃かしらべる。  
 ——汽車、電車、自転車、船、飛行機等——  
 ○発明した人の伝記など読みあつたり話を聞いたりする。  
 ○乗物の速さくらべをする。図表化する。  
 ○昔や今の道路のようすについて調べる。
- (八) 郷土の地勢と道路と鉄道をあらわした模型を作る。  
 ○模型を作る準備をする。  
 ○構想をねる。  
 ○いろいろ作るものなどの仕事の分担をする。  
 ○仕事にかかる。  
 橋やトンネルについてはよく調べる。
- (九) 交通の安全をはかる為にはどうしたらよいか話しあう。  
 ○交通事故の統計をしらべる。  
 警察署をたずねる。  
 ○交通事故の原因について話しあう。  
 ○交通安全の施設について話しあう。  
 交通 巡査 訪問してお話を聞く。  
 交通整理班 代表の人をよんで話し合いをする。  
 その他の施設について話しあう。
- (一〇) 交通安全をはかるためにどんなきまりを守ったらよいか話しあう。  
 ○左側通行をしっかり守ろう。  
 ○路上ゲームはやめよう。  
 ○道路横断は左右をみて急いで通ろう。  
 ○一列歩行をしよう。  
 ○四ツ角は前後左右をしっかりみてから通ろう。  
 ○横合いから飛び出さないようにしよう。  
 ○トラックなど車の後ろにぶら下がらないようにしよう。
- (一一) 乗車の態度をりっぱにするように考えてみよう。  
 ○車が止まって降りる人が降りてから乗ろう。  
 ○ドアを開け放して乗るのはやめよう。  
 ○車内での大声はやめよう。  
 ○車内に紙屑、食べ物屑を捨てないようにしよう。  
 ○車内ではたん、つばを吐かないようにしよう。  
 ○窓から物を落とさないようにしよう。  
 ○窓から首を出さないようにしよう。  
 ○自転車の二人乗りはやめよう。
- (一二) 都市計画をやってみる。  
 ○今の都市計画の話聞く。  
 ○市の有力者を訪問して抱負を聞く。  
 ○交通を主とした前橋の構想について話しあう。  
 ○理想的なものを図にあらわしてみる。  
 伊勢崎——高崎の電化。  
 前橋——東京の電化。  
 電車の複線計画。  
 赤城観光バスの設計。  
 道路の整備拡張等。  
 ○プランを市長さんや市の有力者に提示して話しあいつる。

#### 四、期待される発達

- (一) 我々の祖先は交通を便利にするために絶えず努力してきたこと。  
 (二) 人々はその土地に適した交通の方法を工夫してきたこと。  
 (三) 発明によって交通運輸の距離と速度が増大したこと。  
 (四) 人々は食物、住居、仕事、慰安等を求めた危険をのがれ、探検するために旅行すること。  
 (五) 人々が運送するのは通商し、移住し、分配するためであること。

- (六) 人々は自然条件を克服するために道路やトンネル、橋を建設したり種々の設備をすること。  
 (七) 地図の利用は我々を便利にすること。  
 (八) 交通事故の防止方法を知り交通のきまりをよく守ること。  
 (九) 警察官に対して信頼の態度ならびに協力の態度を持つること。  
 (一〇) 乗車道徳を知りよく守ること。  
 (一一) 我々の生活を常に進歩改善するようにすること。  
 (一二) 読図の力がつくこと。  
 (一三) 統計、図表などの製作や利用になれること。

#### 五、評価

学習中随所になされているが、一例を挙げてみる。

- (一) 地図が読めるようになったか。  
 (二) 地図が読めるようになったか。  
 (三) 交通道徳をはじめ公徳が実践されているか。  
 (四) 交通と産業、文化との関係を理解したか。  
 (五) 進んで公の為につくす態度ができたか。  
 (六) 交通と道すじとの関係を理解したか。

#### 六、参考書

##### (一) 児童用

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 地図の話     | (岩波書店)     |
| 2 トンネルを掘る話 | (岩波書店)     |
| 3 橋        | (小学館)      |
| 4 機関車の話    | (自由出版株式会社) |
| 5 良い子の友    | (小学館)      |
| 6 社会科年かん   | (和光商事合資会社) |
| 7 新聞その他    |            |

##### (二) 教師用

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1 学習指導要領社会科編 | (文部省)     |
| 2 新しい教え方学び方  | (若狭書房)    |
| 3 日本の自然と人文   | (古今書院)    |
| 4 社会科教育      | (社会教育研究社) |
| 5 社会と学校      | (金子書房)    |
| 6 トンネルの話     | (岩波書店)    |
| 7 交通論概要(上・下) | (三笠書房)    |
| 8 日本図勢図会     | (国勢社)     |
| 9 その他        |           |

群馬師範学校男子部附属小学校『一日のプログラムおよび学習指導案』1948, pp. 27-32.

2 宮郷村立宮郷小学校『農村教育課程の研究』(1949)に関する資料

(1) 学習課題

(第八表)

学 習 課 題 表

学年	学習課題	保 護	生 産	消 費	交 流	教 育	美 術 宗 教	慰 安	教 治
一 年 生	身のまわりを楽しくするにはどうすればよいか	1. 病気がかからないようにするにはどうすればよいか 2. 家や学校では健康の維持のためにどんなことをしているか 3. 病気を予防するにはどうしたらよいか	1. 農家でどんなものを作っているだろうか 2. 学校や村の仕事を手伝うにはどうすればよいか	1. 洋服や靴のどの部分で何の材料が使われているか 2. 洋服や靴のどの部分で何の材料が使われているか 3. 洋服や靴のどの部分で何の材料が使われているか	1. 安全に行き来するにはどうすればよいか 2. 交通と神よく遊ぶにはどうすればよいか	1. 学校になれるにはどうすればよいか 2. 先生はなぜそんなに厳しくしてくれるか	1. 身のまわりを楽しくするにはどうすればよいか	1. 公園や学校で楽しく暮らすにはどうすればよいか	1. 学校のまわりを守るにはどうしたらよいか 2. 学校にはどんな楽しみがあるか
二 年 生	近所の人と仲良く暮らすにはどうすればよいか	1. 病気がかからないようにするにはどうすればよいか 2. お医者さんは健康のためにどんな世話をしてくれるか 3. 病気の予防や治療をよくなるにはどうすればよいか	1. 村の農家でどんなものを生産しているだろうか 2. 農産物を育てるにはどうすればよいか	1. 学校や家の近くの高圧でどんなものを売っているか 2. 洋服や靴のどの部分で何の材料が使われているか 3. 洋服や靴のどの部分で何の材料が使われているか	1. 仕事を知らせ合うにはどうすればよいか 2. 近所の人と遊ぶにはどうすればよいか	1. みんなでよく学ぶにはどうすればよいか 2. 先生はなぜそんなに厳しくしてくれるか	1. 村や学校を自分の手で美しくするにはどうすればよいか	1. 公園や学校で楽しく暮らすにはどうすればよいか 2. 公園の遊具をどうつかったらよいか	1. 公園と力を合わせて手入れをよくして行くにはどうすればよいか 2. 学校のまわりや先生の話を聞くにはどうしたらよいか
三 年 生	村の人と仲良く暮らすにはどうすればよいか	1. 村の人は健康の維持のためにどんなことをしているか 2. 村にはどんな衛生施設があるだろうか 3. 病気を予防するために健康や衛生をどのように工夫したらよいか	1. 村の農産物の特色は何か 2. 村の農産物の自給自足はどうか 3. 農産物をどのように利用すればよいか	1. 農産物は何のように使われているか 2. 洋服や靴のどの部分で何の材料が使われているか 3. 洋服や靴のどの部分で何の材料が使われているか	1. 郷土の交通運輸はどうか 2. 洋服や靴のどの部分で何の材料が使われているか 3. 洋服や靴のどの部分で何の材料が使われているか	1. 先生はなぜそんなに厳しくしてくれるか 2. 先生はなぜそんなに厳しくしてくれるか 3. 先生はなぜそんなに厳しくしてくれるか	1. 村にはどんな芸術があるだろうか 2. 芸術をよくなるために他の村ではどんなことをしているか	1. 村で楽しい行事をもつにはどうすればよいか 2. 村にはどんな行事や祭があるだろうか	1. 自治会とはどんなものか 2. 自治会の役員にはどんな人を選び、役員になったらどんな心掛けが必要か 3. 自治会の役員と役員との関係はどのようなものか
四 年 生	村の生活は健康な生活をするためにどんなことをしているか	1. 村の生活は健康な生活をするためにどんなことをしているか 2. 村にはどんな衛生施設があるだろうか 3. 病気を予防するために健康や衛生をどのように工夫したらよいか	1. 村の農産物は何のように使われているか 2. 洋服や靴のどの部分で何の材料が使われているか 3. 洋服や靴のどの部分で何の材料が使われているか	1. 交通運輸はどうか 2. 交通運輸はどうか 3. 交通運輸はどうか	1. 交通運輸はどうか 2. 交通運輸はどうか 3. 交通運輸はどうか	1. 先生はなぜそんなに厳しくしてくれるか 2. 先生はなぜそんなに厳しくしてくれるか 3. 先生はなぜそんなに厳しくしてくれるか	1. 村にはどんな芸術があるだろうか 2. 芸術をよくなるために他の村ではどんなことをしているか	1. 村で楽しい行事をもつにはどうすればよいか 2. 村にはどんな行事や祭があるだろうか	1. 自治会とはどんなものか 2. 自治会の役員にはどんな人を選び、役員になったらどんな心掛けが必要か 3. 自治会の役員と役員との関係はどのようなものか
五 年 生	村の生活は健康な生活をするためにどんなことをしているか	1. 村の生活は健康な生活をするためにどんなことをしているか 2. 村にはどんな衛生施設があるだろうか 3. 病気を予防するために健康や衛生をどのように工夫したらよいか	1. 村の農産物は何のように使われているか 2. 洋服や靴のどの部分で何の材料が使われているか 3. 洋服や靴のどの部分で何の材料が使われているか	1. 交通運輸はどうか 2. 交通運輸はどうか 3. 交通運輸はどうか	1. 交通運輸はどうか 2. 交通運輸はどうか 3. 交通運輸はどうか	1. 先生はなぜそんなに厳しくしてくれるか 2. 先生はなぜそんなに厳しくしてくれるか 3. 先生はなぜそんなに厳しくしてくれるか	1. 村にはどんな芸術があるだろうか 2. 芸術をよくなるために他の村ではどんなことをしているか	1. 村で楽しい行事をもつにはどうすればよいか 2. 村にはどんな行事や祭があるだろうか	1. 自治会とはどんなものか 2. 自治会の役員にはどんな人を選び、役員になったらどんな心掛けが必要か 3. 自治会の役員と役員との関係はどのようなものか
六 年 生	村の生活は健康な生活をするためにどんなことをしているか	1. 村の生活は健康な生活をするためにどんなことをしているか 2. 村にはどんな衛生施設があるだろうか 3. 病気を予防するために健康や衛生をどのように工夫したらよいか	1. 村の農産物は何のように使われているか 2. 洋服や靴のどの部分で何の材料が使われているか 3. 洋服や靴のどの部分で何の材料が使われているか	1. 交通運輸はどうか 2. 交通運輸はどうか 3. 交通運輸はどうか	1. 交通運輸はどうか 2. 交通運輸はどうか 3. 交通運輸はどうか	1. 先生はなぜそんなに厳しくしてくれるか 2. 先生はなぜそんなに厳しくしてくれるか 3. 先生はなぜそんなに厳しくしてくれるか	1. 村にはどんな芸術があるだろうか 2. 芸術をよくなるために他の村ではどんなことをしているか	1. 村で楽しい行事をもつにはどうすればよいか 2. 村にはどんな行事や祭があるだろうか	1. 自治会とはどんなものか 2. 自治会の役員にはどんな人を選び、役員になったらどんな心掛けが必要か 3. 自治会の役員と役員との関係はどのようなものか

宮郷村立宮郷小学校『農村教育課程の研究』1949. (第八表)

(2) 児童の発達系列

項目 ／ 学年	◎総合主題 (指導の重点)				◎社会性の発達				
	× 総合 (生活の場)	(1)生活の場	(2)依存関係	(3)学習方法	(4)人間性	× 総合	(1)遊び	(2)交友	(3)社会規範
一年	× 模倣遊び (〇〇ごっこ)	(1)家庭及び学校を場として	(2)眼に見える動くものや人との相互関係	(3)模倣遊びによって	(4)よく友達に馴れさせる	× 社会生活は著明でない	(1)一人遊びから二人(三人(双六ぬりる))	(2)自分に対して親切であるからという自己中心である	(3)遊びの約束が殆ど全部である
二年	× ゲームによる模倣遊び	(1)更に周辺にある眼に見える	(2)静的なものとの相互関係	(3)模倣遊びゲームによって	(4)物の役目を知らせる	× 同上	(1)三人中心(まりつき、キャッチボール)	(2)自我が強くと競争心をもって来る 一時感情が多い	(3)物品の貸与の約束が多い
三年	× 模倣を利用しての構成的な作業	(1)地域社会より	(2)模倣を利用しての公共施設の簡単な組織や仕事を	(3)構成的な作業を通じて	(4)役割と役割との関係を知らせる	× 社会生活が稍著名となる	(1)三人(五人)か、まりつき	(2)仲間の風評を気にするようになる	(3)人に迷惑をかけることにならないから約束は固く守らなければならない
四年	× 構成的な作業	(1)時間的観点を通じて	(2)自然に対する人間の組織機構・行事・習慣・風俗を	(3)構成的な作業によって	(4)秩序の中にくいちがいを知らせる	× 同上	(1)四人(五人)(男 鬼ごっこ)(女 石けり)	(2)気が合うから仲良しとなる(親切との過渡期)	(3)社会道徳上の約束が生ずる
五年	× 合理的な作業	(1)地域社会との地理的な関係において	(2)人間の組織構成行事風俗	(3)すじ道の合うように習慣を	(4)修正整理して行くことを理解させる	× 社会集団生活が拡大する	(1)六(九人(ドッチボール))	(2)他人の人格を認め合い人格無視が立腹の原因となる	(3)学級全体の約束を相当重要視する
六年	× 全体の中の分業	(1)地域社会を通じて歴史的関係において	(2)ものともとの関係を広く	(3)社会全体の中の分業によって	(4)ものの位置を正しく見極めさせる	× 社会生活関係とその責務について理解する	(1)二十人以上(女 複雑化した石けり)(男 野球)	(2)気が合うというところが絶対的条件である	(3)教師にも間違いがある事を認め批判して意見を吐く

宮郷村立宮郷小学校『農村教育課程の研究』1949。(第8表より抜粋、二重波線は大竹)

(3) 社会科作業単元展開計画案(第1学年)

社会科作業単元展開計画案		第1学年2組 担任 徳江しげ子		
作業単元名	おかあさんごっこ		予定期間 自11月28日 至12月3日	日数 6 予定時間 9
予 記 す る 経 験	◎社会性の面 1 家庭の幸福は母親を中心として家族全体が互いに協力して生活することである。 2 たのしい民主的な家庭より円満な民主的な社会がうまれる 3 近所の人々との交際の必要なことを理解する	◎情緒性の面 1 ごっこ遊びの中に家庭のたのしみを味わう 2 家族に協力して出来るだけお手伝いをするによりお母さんをはじめ、家中の人がどんなに喜ばれるか 3 明るいお家の子供は明るいすなおな心の持ち主となる	◎知識性の面 1 家庭におけるお母さんのお仕事をはじめ家族の役割が明らかになる 2 ごっこ遊びの間に各方面の表現の力を養う 3 台所道具や、家具の施設や、役割、用途を理解する 4 一日の生活中により習慣を養う	◎身体性の面 1 ごっこ遊びの中に適当な全身運動をする 2 書いたり作業の中にかるい筋肉運動をする
離 組	導 入	計 画	研究及作業	終 末
展 開 の 概 要	(1)お母さんのおいそがしい生活を話し合う (イ)農繁期のおしごと (ロ)ふだんのおしごと (ハ)私たちにお世話して下さい (ニ)お父さん、兄さん、姉さん等のおしごとを話し合う (ホ)おうちのたのしい時はいつだろうか (ヘ)ここにこして笑うとき (ニ)学校のことやいろいろのお話をし合うとき	(1)お母さんごっこをしましょう (イ)どのようにしたらたのしくできるだろうか (ロ)組み分けをする (ハ)家族の人を定める (ニ)お仕事の分担を話し合う (ホ)どんな道具が必要だろうか 台所どうぐ おへやのおどうぐ (ハ)おうちをきれいにかざるときはどうしたらよいか	(1)お母さんごっこの準備をする (イ)台所どうぐやその他のどうぐを集めたり作ったりする (ロ)場所を作ってきれいにかざる (2)おかあさんごっこをする (イ)朝の様子 ○台所やおざしきの朝のおしごと ○たのしいごはん ○それぞれのおしごとにつく (ロ)昼の様子 ○田畑からかえるおちの人、学校からかえる子供 ○ひるごはん ○ひるからのそれぞれのおしごとや遊び (ハ)夜の様子 ○いそがしい野良仕事を終了したよろこび ○たのしい夜のごはん ○家中でラジオを聞く	(1)おかあさんごっこの反省、話し合い (イ)よくできたところ (ロ)できなかったところ (ハ)たのしかったこと (ニ)おもしろかったことを作文にする
日	28	29	30 1 2	3
資 料	家族の人を描いた児童の作品 家族の人の写真	(1)おかあさんごっこをしているところの絵や絵本	(1)おかあさんごっこのいろいろのどうぐ、おもちゃ (2)工作用具、鋏、色紙、画用紙、糊 (3)花や、木の葉、木の実 (4)「ままごと」のうた	(1)作文用紙
評 価	自分の考えや、経験したことを発表できるか	グループの人と協力しようとする態度があるか 計画をたて仕事をしようとする態度があるか	(1) 家族の役割や、家庭の一員である自覚ができたか (2) 近所の人々と助け合うことが理解できたか (3) 道具の名や、役割を知るようになったか (4) 絵や工作の表現法や工夫する力 (5) ごっこ遊びに協力する態度	(1)お母さんの仕事を手伝うようになったか (2)うちの人に心配をかけないように努力するようになったか
予 備 調 査	(1) この頃、どんな遊びをするか (2) どんな遊び道具を使うか (3) 誰と遊ぶか	所 見		

(4) 第6学年基底単元「絹織物」

基底単元「絹織物」における学習の中心となる問題は、次の通りである。

1 養蚕業はどのように発展しているか (かいこ)
2 製糸はどのように行われているか (糸ひき)
3 織物業はいかに発達して来たか (はたおり) と (おりもの) [1～3が本作業単元]
4 我が国における近代工業の発達と貿易との関係はどのようになっているか (伊勢崎銘仙の行く方)

宮郷村立宮郷小学校『農村教育課程の研究』1949. (第6学年基底単元) 下線部は大竹

表 社会科作業単元展開計画案(第6学年)

本作業単元は、昭和22年版の『学習指導要領社会科編(試案)』に示された第6学年の次の問題が主にかかわっていると考える。

問題一 仕事を通じて人々はどのように協力するか。
問題六 工場生産は、どこにどのように、発展するか。

文部省『小学校学習指導要領社会科編(試案)』1951, pp.118-119.

右の社会科作業単元展開計画案の中には、「協力」の言葉が多く使われている。「社会科作業単元展開計画案(第6学年)」の「予記する経験」に記載されている「社会性の面」と「情緒性の面」の内容は、道徳教育の内容と考える。これら2つの面に列記されていることを、現在の小学校学習指導要領における道徳教育の内容の4つの観点に分類すると、次のようになると考える。

主として自分自身に関わること	なし
主として他の人とのかわりに関すること	情緒性(1) 協同作業により協力的態度 情緒性(2) 協力してなしとげた仕事を共に楽しむ態度 情緒性(4) 見学に行く時他人に迷惑をかけない態度
主として自然や崇高なもののかかわりに関すること	なし
主として集団や社会とのかわりに関すること	社会性(3) 働く人達の社会にこうけんしている様子を認識する

社会科作業単元展開計画案		第6学年1組 担任 石原政七		
作業単元名	蚕業の発展(蚕から)	予定期間 月11月12日 至12月17日 日30 予定期間30		
予記する経験	◎社会性の面 (1) 科学の進歩と工業の発達 人の労力を軽減せしめたこと (2) 戦後の日本の蚕業がもつ意義は世界的規模につながりをもつものであり再建の重大使命を有するものなること (3) 働く人達の社会にこうけんしている様子を認識する	◎情緒性の面 (1) 協同作業により協力的態度 (2) 協力してなしとげた仕事を共に楽しむ態度 (3) 自分の感情を文章に表現する態度 (4) 見学に行く時他人に迷惑をかけない態度	◎知識性の面 (1) 機械器具の発明発見が蚕業の発展に寄与したことを理解する (2) 蚕業、製糸、織物の盛んな地方を知りそれに対する郷土の地位を理解する (3) 製糸業の歴史を理解する (4) 図表をかくことを理解する	◎身体性の面 (1) 見学に行くことにより全身的な発達。 (2) 図表やレポート模型を作る事により小筋肉の発達 (3) 身体を保護する衣服について知る
導入	計画	研究及作業	発表	
展開の概要	(1) まゆの行方について色々と話し合いをする (2) 環境の整備 ○織物の見本 ○製糸の道具(ザグリ) ○養蚕業の分布図	A. 養蚕業(かいこ) A. 班 B. 製糸業(糸ひき) B. 班 C. 織物業(おりもの) C. 班 A. ○分布図作製 ○まゆの翌年収穫高を表にする ○桑園の分布図をかく B. ○製糸発達史をしらべる ○身近な工場を見学する(伊勢崎製糸) ○製紙工場の分布図をかく C. ○各種の織物をしらべる ○織物の産地をしらべる ○織物工場を見学する(下城織物)	各班の研究発表及び話しあいをしそれをまとめてレポートを作る そして次の貿易との関連をつける	
日	11月 12-14	15-17	12月 8-10	
資料	織物の見本 養蚕業の分布図 製糸の道具(ザグリ)	○各種年鑑 時事 学習 学生 郷土 児童 ○社会科事典 ○各種地図 群馬日本世界 ○社会科地図帳 ○百科事典	左に同じ	
評価	環境に反応する積極的な態度(記述尺度法)	問題作題に如何に努力し協力しているか(態度及び協力)(記述尺度法) どの点にきづくか(記述尺度法)	研究に如何に積極的に出しているか(記述尺度法)(態度) 互いに協力しあっているか(記述尺度法) 分布図、模型を上手に作るか(一対比較)	レポートにより評価する(総合的) 研究発表の時の態度(記述尺度法)
予備調査	(4) 家ではたを織っているか (5) 糸ひきをしているか (6) 織物にはどんなものがあるか (7) 蚕業の盛んな地方はどこか	所見		

宮郷村立宮郷小学校『農村教育課程の研究』1949.(各級別作業単元)

本作業単元「蚕業の発展(蚕から)」のように道徳教育と直接関わりをもたない主題においても、問題解決学習を進めていく過程の中に、道徳的な価値を見だし、道徳教育を実践しようとしていたことがわかる。

3 高崎市立北小学校『昭和27年度 社会科教育計画』(1951)に関する資料

(1) 表6 第6学年一覧表

	一般目標	学年目標
第 六 学 年	I. 自己と他人の人格の尊重 自主的、自律的態度	1.意見交換と知識を豊かにする 2.ニュース世論の機関は人間生活に役立つ 3.相互理解を深める 4.自由と責任 16.生活の改善と合理化 17.学問の進歩と人々の協力
	II. 社会集団と集団との相互依存関係 集団生活への適応とその改善に役立つ能力	10.世界の人々は文化、経済の面で相互依存する 11.生活様式には人類共通の欲求がある 12.人類の一員として尊敬と幸福を願う 13.戦争は人類最大の万幸である 14.全力をあげて戦争回避 15.自由と責任 16.生活改善と合理化 17.学問の進歩と人々の協力
	III. 社会機能とその相互依存関係 人間生活に対する理解、これに進んで参加する協力する態度能力	4.人々は幸福になれる権利をもっている 15.自由と責任 16.生活改善と合理化 17.学問の進歩と人々の協力
	IV. 集団生活社会的諸機能と自然環境に適応しそれを利用する態度能力	10.世界の国々は文化、経済の面で相互依存の関係にある 16.生活改善と合理化
	V. 社会機能と制度、施設、習慣、その発達についての理解適応改善して行く態度能力	6.政治上の諸制度、施設は社会の合理化、人間生活の幸福のためである 7.民衆の自主的統制 8.昔は身分によって自由がさまたげられた 9.昔は一般民衆は参与できなかつた 15.自由と責任 16.生活改善と合理化 17.学問の進歩と人々の協力

(2) 表7 指導計画表

	月	行事	目 標	学習活動	他教科との関連	資 料
単 元  世 界 の 動 き  第 六 学 年 第 一 学 期  83 225 時 間 扱	4	入学準備 始業式 入学式 大掃除 身体検査 家庭訪問 委員選挙 天皇誕生日 憲法記念日	1.自己と他人の人格を尊重し、社会集団と集団、社会機能と人間生活、自然環境と人間生活の相互依存の関係を理解せしめ社会の進歩に貢献し得る資質を養う	出発 1.日常生活問題について話合をする 2.環境の整備をする (1)新聞記事を掲示する (2)ラジオに関する写真の掲示をする。	国語 新聞の話 世界の旅 工夫と発明	上毛新聞社 前橋放送局 新聞 放送局、新聞社の研究 各種の新聞 図書 (特に科学書) 玉川大辞典 学習大辞典 における報道 機関の項参照 発明発見年表 人文地理書
	5	遠足 子供の日 植樹祭 母の日	2.世界情勢をしらせ正しき判断力、公正な批判力を培い、自己及日本のあり方を理解せしめる	研究 1.児童の問題を整理する 2.単元をきめる 3.グループの問題をきめる 4.グループの計画を立てる (1)新聞はどんなにして発達してきたかしらべよう ・発達につくした人々は ・新聞はどうしてつくられたか ・機械の進歩はどんなだったか(図表にする) (2)新聞社の組織についてしらべよう ・そこに働く人々の仕事は ・家に来るまでの道筋は(表にする) (3)新聞の機械についてしらべよう ・どんな機械があるのだろう ・どんなにして動いているのだろう (4)ラジオはどんなにして発達してきたか ・発達につくした人々は ・テレビジョンの発達も考えよう (5)ラジオの構造をしらべよう ・組立て、配線、配線図とする ・故障のありかをしらべよう (6)放送局はどんなになっているかしらべよう ・組織、構造、働く人々 ・放送してみる (7)新聞やラジオの役目をしらべよう ・新聞記事をしらべる ・世界のつながりを見る ・国際親善、平和のための努力をする	理科 電気はどのように使われるか 放送器具の取扱い 報道機械について 算数 グラフの描き方 でんせん病 季節による病 気 学級文庫 夏休み 図工 図形(ラジオ配線図) 模型造り ポスター 家庭 生活改善 音楽 ラジオの歌 校内放送 ローマ字 世界をつなぐ橋	
	6	衣がえ 時の記念日 入梅 夏至	3.文化と科学は国と国との親善関係の増進により、一層進歩発展することを理解せしめる			
	7	大掃除	4.世界の人々と交わるには日本及日本人が国際社会に立つて行けるだけの基礎をもたなくてはならないことを理解せしめ、生活改善と社会の民主化をはかる態度能力を育成する			
	8	夏休み 児童召集 お盆	5.世界情勢は新聞、ラジオの発達によって速やかに然もこまやかに知ることの出来るようになったことを理解せしめ、新聞、ラジオについての理解を深める	まとめ 1.世界情勢についての話合をし、自分たちの生活態度をする 2.作品を展示し学習を回顧する		

(3) 表8 評価表

	理解	態度	技能
評価のねらい	1.新聞の発達の歴史を理解したか 2.新聞社の組織を理解したか 3.新聞の役目を理解しその見方を理解したか 4.新聞の印刷を理解したか 5.大量生産と機械の発達の関係を理解したか 6. ラジオの放送の仕方及びその仕組みを理解したか 7. ラジオの構造を理解したか 8.ラジオの原理を理解したか 9.世界情勢をしり、日本の行くべき道を理解したか 10.講話問題はどんなになっているかを理解し、そのとるべき自分の考えをまとめたか 11.世界の平和はいかにしたらもたらされるかを理解したか 12.生活を改善し合理的な生活態度が日本が国際社会に復帰することの大切なわけを理解したか 13.発明発見が人間生活を明るくすることを理解したか 14.世界及び人類は親善、相互依存の関係を理解したか	1.積極的に学習したか 2.資料を生かして使えたか 3.図表にまとめようとしたか 4.ノートの整理を工夫したか 5.模型や形に表現しようとしたか 6.新聞、ラジオをよく利用したか 7.新聞を発行しようとしたか 8.ラジオを自ら研究しようとしたか。又、その材料を集めてみたか 9.自主的に計画的に学習が出来たか 10.外国人に会った時親切であり普通と変わらなかつたか 11.身の回りを工夫して明るくしたか 12.家を豊かにするために工夫したか 13.人のため、社会のために働いたか 14.世界のニュースや写真に関心をしめすか 15.発表は積極的でまとまっているか。又、よく討議に参加するか 16.勤労を尊ぶか 17.人の世話をよくするか 18.規律正しく、規則をよく守るか 19.自分の仕事に責任をもつか	1.発表討議が出来るか 内容を理解して適切な討議であるか 言語が明瞭でよくまとまっているか 2.グラフ、図表が正確に美しくかけるか 3.ノートの整理がよく出来るか 4.模型の作製や、製図がよく出来るか 5.ラジオが自分で調節できるか 6.新聞記事をまとめて整理することが出来るか 7.図鑑や年鑑の利用が出来るか 8.物を大切に、よく整理出来るか 9.ポスターが上手にかけるか 10.主となって議事を運ぶことが出来るか 11.学校家庭に学習事項を応用し、生活化することが出来るか 12.見学のプランがたてられるか

4 「1 道徳教育や社会科に関する国の施策」と「2 本県小学校の初期社会科における道徳教育（1）カリキュラム研究の概要」の対応表

(昭和) 年・時期区分	道徳教育や社会科に関する国の施策	本県におけるカリキュラム研究の流れ
20年 1945	・連合軍最高司令官総指令部(GHQ)が「修身、国史、地理停止に関する件」の指令を下す。(12月)	
21年 1946	・「国民学校等ニ於ケル修身、国史及び地理ノ授業停止ニ関スル件」の公布(3月) ・文部省が『新教育指針』を発行(5月) ・地理(6月)、国史(10月)の授業再開 ・文部省が『国民学校公民教師用書』を発行 公民科の設置(9月)	
22年 1947	・「教育基本法」公布。「学校教育法」成立。六三制実施。「社会科」新設(3月) ・文部省が『学習指導要領一般編(試案)』を発行(3月) ・文部省が『学習指導要領社会科編(試案)』を発行(5月)	・「新教育研究発表協議会」の開催 於群馬師範学校女子部附属小中学校(6月) 於群馬師範学校男子部附属小中学校(7月) 『新教育研究発表協議会要項及学習指導案綴』 ・「新教育研究会」の開催(7月) 於前橋市立敷島小学校 ・「教職員夏季講習会」の開催(8月) 於附属学校(県と群馬師範学校の共催)
23年 1948	・文部省が『小学校社会科学学習指導要領補説』を発行(9月)	・「新教育研究発表講習会」の開催(6月) 於群馬師範学校男子部附属小中学校 『一日のプログラムおよび学習指導案』 ・「研究協議会」の開催 於群馬師範学校女子部附属小学校(6月) 『単元学習の建設』 ・「社会科研究発表会」の開催 於勢多郡南橋村立桃川小学校 於勢多郡粕川村立粕川小学校
24年 1949		・「公開研修会」の開催(11月) 学校及び研究主題 群馬大学群馬師範学校附属小学校 『要素と能力の発見』(都市) 多野郡吉井町立吉井小学校 『新教育計画、カリキュラム』(町) 吾妻郡伊参村立伊参小学校 『社会科カリキュラム』(山村) 佐波郡富郷村立富郷小学校 『農村教育課程の研究』(農村)
25年 1950	・文部省が『小学校社会科学学習指導法』を発行(4月)	・前橋カリキュラム研究会が、『前橋を中心にした社会科作業単元の基底』を発表(4月)
26年 1951	・天野文部大臣が、修身に代わる道徳教育を実施する問題を提起し、教育課程審議会に諮問。同委員会は、否定的な答申を出す。(1月) ・文部省が「道徳教育振興方策」を出す。(2月) ・文部省が『道徳教育のための手引書要綱小学校編』を発行(4月) ・文部省が『学習指導要領一般編(試案)』『小学校学習指導要領社会科編(試案)』を改訂(7月)	・高崎市立北小学校・高崎市社会科研究部が、『社会科教育計画』を発表(11月)
28年 1953	・教育課程審議会は「社会科の改善に関する答申」を出し、社会科が道徳教育を重視し、指導計画および指導法を改善するよう示す。(8月) ・文部省は「社会科の改善についての方策」で、「社会・公共への奉仕」と「国を愛する心情」を社会科に加える。(8月)	
29年 1954	・文部省は地理、歴史、道徳教育を重視するため、「改訂社会科の大綱」を出す。(4月)	
30年 1955	・文部省が『小学校学習指導要領社会科編』を改訂(12月)	
33年 1958	・教育課程審議会から「小学校、中学校教育課程の改善について」の答申が出される。(3月) ・文部省が「道徳実施要綱」を出す。(3月) ・道徳の時間の特設(9月) ・文部省が『小学校学習指導要領』を改訂(10月)	